

全国第一位

公立校 東大合格者数

平成9年度大学入試報告 進路指導部

今春の平成9年度入試は、新課程入試元年とも呼ばれ、今後の入試の方向を展望する意味を持つがゆえに、各方面から熱い注目を浴びる入試となりました。

幸いにして、本校生が受験する主要大学では見事な好成绩を収めることができました。このことは、生徒諸君の努力はもとより、本校職員、保護者が、ともども一致結束し得たことのためのものであり、とりわけ学年関係職員の熱意ある指導と、三年間にわたるその労苦と努力には大なる敬意と賞賛とを贈りたいと思います。

今春の入試では、なんといつても東大合格者数が四十三名、うち現役合格者数三十三名という、全国の進学関係者の目を見張らせた成績が画期的でした。この現浪計四十三名、現役三十三名の合格者数は、いづれも文句なしの公立高校全国第一位。六年制の私立・国立高校の中に置いた全国順位でも、それぞれ、十六位、十二位となります。これは本校が、かつては仰ぎ見る存在であった東京の名門私立・海城高校と肩を並べ、桐朋高校の上位に立つという、信じられないような成績を樹立したことになります。今回の成績が、「本校の東大受験の歴史に新地平

を拓いた金字塔」という評言も決して過言ではないはず。さらに、本校生の国立大受験では、その受験者数が最も多い筑波大学において、現浪計五十二名、うち現役四十二名の合格者を出すことができました。無論、全国第一位の成績ですが、ここ数年減少傾向にあった筑波大合格者数が、久々に従来の現浪計五十名台、現役四十名台への復活をなしたというところで、これまた特筆に値する成績です。

また、私立大入試においても、すこぶる好調な成績を示し、とりわけ、早稲田大九十五名、慶応大七十四名、青山学院大三十九名という合格者数は、本校での新記録になります。このように、今春の入試成績は躍進に満ちた活況のうちに終わりましたが、その躍進の内側を覗いてみると、新課程第一期生(現役)の頑張りとおわせて、過年度卒業生(浪人)の奮闘ぶりが光ります。国立大では、東大十名、京大七名、東北十三名、私立大でも早稲田大五十名、慶応大三十三名という大量の合格者を出しました。その雄飛を生んだ雌伏の日々に心より拍手を送りたいと思います。

平成9年度 大学別合格者数

Table with columns for University Type (National, Private), University Name, and Statistics (Qualified, New Graduates, Old Graduates, Average). Includes sub-tables for National Universities, National Short-term Universities, Public Universities, and Private Universities.

Summary table for平成9年度大学入試 合格者数 (Qualified students in the 1997 University Entrance Exam), showing counts for National, Public, and Private universities.

新卒：平成9年3月卒業生 (普通科49回、理数科26回)

本表は平成9年度入試で合格者の出た大学のみを掲載した。空欄は0である。平均は平成4～8年度入試までの5年間の合格者の平均値である。